

第25回全国障害者スポーツ大会
青森県準備委員会

第5回会議



「アップリート君」

きら
青の煌めきあおもり障スポ
2026 翔ける未来へ縄文の風に乗って
第25回全国障害者スポーツ大会

令和4年9月7日（水）

第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会 第5回会議 目次

○委員名簿		P 1
○報告事項		
報告事項 1	第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会委員の変更等について	P 2
報告事項 2	第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会専決処分した事項について	P 3
○審議事項		
第1号議案	第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会令和3年度事業報告（案）について	P 4
第2号議案	第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会令和3年度収支決算（案）について	P 6
第3号議案	第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会令和4年度事業計画（案）について	P 8
第4号議案	第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会令和4年度収支予算（案）について	P 9
第5号議案	第25回全国障害者スポーツ大会オープン競技実施基本方針（案）について	P10
第6号議案	第25回全国障害者スポーツ大会式典基本方針（案）について	P11
第7号議案	第25回全国障害者スポーツ大会宿泊等基本方針（案）について	P12
第8号議案	第25回全国障害者スポーツ大会輸送・交通基本方針（案）について	P14
第9号議案	第25回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針（案）について	P15
○協議事項		
協議事項 1	第25回全国障害者スポーツ大会会場施設等基本方針（素案）について	P17

第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会 委員名簿

委員会 役職	分野	団体名及び役職名	氏名
会長	障害者団体	一般財団法人青森県身体障害者福祉協会 会長	ヒガシヤマ クニオ 東山 国男
副会長	障害者団体	一般社団法人青森県手をつなぐ育成会 理事長	アベ ヒロコ 阿部 弘子
委員	障害者スポーツ	特定非営利活動法人青森県障害者スポーツ協会 理事	ナカジマ ミキ 中嶋 実樹
委員	障害者スポーツ	青森県障害者スポーツ指導員会 会長	フクサワ カズヒコ 福沢 和彦
委員	障害者団体	一般社団法人青森県視覚障害者福祉会 会長	ササキ ヒデカツ 佐々木 秀勝
委員	障害者団体	一般社団法人青森県ろうあ協会 副会長	ナカガワラ テルノブ 中川原 輝信
委員	障害者団体	青森県精神保健福祉協会 会長	タサキ ヒロイチ 田崎 博一
委員	障害者団体	社会福祉法人青森県社会福祉協議会 事務局長	タカハシ キンイチ 高橋 金一
委員	学校教育	青森県特別支援学校校長会 会長	ナラオカ マモル 奈良岡 守
委員	学校教育	青森県特別支援学級・通級指導教室設置学校長協議会 会長	スドウ カヨコ 須藤 香代子
委員	競技団体	公益財団法人青森県スポーツ協会 専務理事	オガサワラ ヒロシ 小笠原 博
委員	競技団体	一般財団法人青森陸上競技協会 副会長	タカダ ユウジ 高田 雄司
委員	競技団体	一般社団法人青森県水泳連盟 パラスポーツ委員会委員長	ウチミ ツトム 内海 勉
委員	競技団体	青森県アーチェリー協会 副会長	オダギリ ミノル 小田桐 稔
委員	競技団体	青森県卓球連盟 副理事長兼事務局長	フジタ サトル 藤田 暁
委員	競技団体	青森県障害者フライングディスク協会 会長	サイトウ マコト 齊藤 誠
委員	競技団体	青森県ボウリング連盟 名誉会長	コウリン シュウイツ 幸林 周逸
委員	競技団体	一般財団法人青森県バスケットボール協会 理事兼事務局長	ハラコ ケイイチロウ 原子 圭一郎
委員	競技団体	青森県車椅子バスケットボール連盟 事務局長	タカスギ カツヒコ 高杉 勝彦
委員	競技団体	青森県ソフトボール協会 理事長	アンドウ トモフミ 安藤 智史
委員	競技団体	青森県バレーボール協会 強化委員（障害者スポーツ担当）	コマツザキ シュン 小松崎 瞬
委員	競技団体	一般社団法人青森県サッカー協会 会長	オオミナミ ヒロヨシ 大南 博義
委員	競技団体	青森県ポッチャ協会 専務理事	クシビキ コウイチ 櫛引 宏一
委員	輸送・交通	公益社団法人青森県バス協会 専務理事	イケダ マモル 池田 守
委員	宿泊・観光	青森県旅館ホテル生活衛生同業組合 理事長	フクシ ケイスケ 福土 圭介
委員	宿泊・観光	公益社団法人青森県観光連盟 専務理事	アキタ ヨシノリ 秋田 佳紀
委員	市町村	青森県市長会 事務局長	コシカ ツグヒト 小鹿 継仁
委員	市町村	青森県町村会 常務理事兼事務局長	ハラタ ケイイチ 原田 啓一
委員	県	企画政策部国民スポーツ大会準備室 室長	オガサワラ タダヨシ 小笠原 忠儀
委員	県	教育庁学校教育課特別支援教育推進室 室長	ムライ サトシ 村井 知史
委員	県	教育庁スポーツ健康課 課長	イトウ アキノリ 伊藤 明德

第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会 委員の変更等について

令和4年2月2日（前回書面会議開催日）から8月22日までの間における委員の変更等については次のとおりである。

○委員

(敬称略)

団体名及び役職	新任者	旧任者
青森県特別支援学級・通級指導教室設置 学校長協議会 会長	須藤 香代子	藤田 浩司
教育庁学校教育課特別支援教育推進室 室長	村井 知史	佐藤 忠全

○役職名

(敬称略)

氏名	新役職名	旧役職名
幸林 周逸	青森県ボウリング連盟 名誉会長	青森県ボウリング連盟 会長
大南 博義	一般社団法人青森県サッカー 協会 会長	一般社団法人青森県サッカー 協会 専務理事

第 25 回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会 専決処分した事項について

令和 4 年 4 月 1 日に会長による専決処分した令和 4 年度暫定予算は次のとおりである。

1 収入の部

(単位：千円)

科 目	暫定予算額	備 考
負 担 金	8, 7 1 1	青森県負担金
合 計	8, 7 1 1	

2 支出の部

(単位：千円)

科 目	暫定予算額	備 考
事 業 費	8, 7 1 1	準備委員会会議開催経費、情報支援ボランティア養成事業費、競技役員等養成事業費 等
合 計	8, 7 1 1	

第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会 令和3年度 事業報告（案）

第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会の令和3年度事業報告は、次のとおりとする。

1 開催準備業務

主な業務	内容
各種基本方針等の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープン競技実施基本方針（素案）協議 ・ 式典基本方針（素案）協議 ・ 宿泊等基本方針（素案）協議 ・ 輸送、交通基本方針（素案）協議 ・ 県民運動基本方針（素案）協議
会場地市町村の決定	準備委員会の第4回会議において、個人7競技、団体7競技について、8市2町での開催を決定
情報支援ボランティア養成事業の推進	手話学習動画を作成し、YouTubeに掲載
競技役員等養成の補助	車いすバスケットボールの審判養成
広報活動の推進	クリアファイルを作成、配布
その他開催準備業務の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャラクターの障スポ版のデザインを作成 ・ 愛称、スローガン等の規定書体を作成

2 会議の開催

会議名	開催年月日	開催場所	議案等
第3回会議	R3.9.6	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備委員会の役員の選出 ・ 令和3年度事業計画 ・ 令和3年度収支予算 ・ 競技会場の施設整備 ・ 会場となる市町村の費用負担
第4回会議	R4.2.2	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場地の選定 ・ オープン競技実施基本方針（素案） ・ 式典基本方針（素案） ・ 宿泊等基本方針（素案） ・ 輸送、交通基本方針（素案） ・ 県民運動基本方針（素案）

3 各種調査の実施

主な調査	内容
市町村・協議団体ヒアリング	会場地選定に係るヒアリング

4 協議・連絡調整の実施

主な調整先	内容
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	開催日程等の協議

第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会 令和3年度 収支決算（案）

第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会の令和3年度収支決算は、次のとおりとする。

収入決算額	698,286円
支出決算額	698,265円
差引残高	21円

(収入) (単位：円)

項・目	節	予算額	決算額	備考
負担金	青森県負担金	3,581,000	698,265	
諸収入	預金利息等	0	21	預金利息
合計		3,581,000	698,286	

(支出) (単位：円)

節	目	節	予算額	流用額	現計予算額	決算額	備考
準備委員会費	事業費	報償費	0	20,000	20,000	12,500	
		旅費	1,624,000	△350,000	1,274,000	2,700	
		需用費	15,000	150,000	165,000	165,000	
		役務費	42,000		42,000	0	
		委託料	0	180,000	180,000	178,200	
		負担金補助及び交付金	1,006,000		1,006,000	25,150	
		小計	2,687,000	0	2,687,000	383,550	
	事務局費	旅費	496,000	△200,000	296,000	25,725	
		需用費	91,000	50,000	141,000	125,670	
		役務費	176,000		176,000	0	
		使用料及び賃借料	131,000		131,000	22,960	
		備品購入費	0	150,000	150,000	140,360	
小計		894,000	0	894,000	314,715		
合計		3,581,000	0	3,581,000	698,265		

監 査 報 告

第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会会則第7条第3項及び第13条の規定に基づき、令和3年度収支決算に関する会計書類について監査したところ、その内容が適正であったことを認めます。

令和4年 6月16日 監 事 大澤道彦

令和4年 6月24日 監 事 小鹿継仁

令和4年 6月27日 監 事 原田啓一

第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会

会 長 東 山 国 男 様

第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会 令和4年度事業計画（案）

第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会の令和4年度事業計画は、次のとおりとする。

1 開催準備業務

- (1) 各種基本方針等の策定
- (2) 情報支援ボランティア養成事業の推進
- (3) 競技役員等養成の補助
- (4) 広報活動の推進
- (5) その他開催準備業務の推進

2 会議の開催

準備委員会会議

3 各種調査の実施

- (1) 先催県の情報収集
- (2) 競技施設及び宿泊施設等バリアフリー調査

4 協議・連絡調整の実施

公益財団法人パラスポーツ協会及び関係機関・団体との連絡調整

**第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会
令和4年度収支予算（案）**

第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会の令和4年度収支予算は、次のとおりとする。

1 収入の部

（単位：円）

科 目	予 算 額	備 考
負 担 金	10,300,000	青森県負担金
繰 越 金	21	前年度繰越金（預金利息）
合 計	10,300,021	

2 支出の部

（単位：円）

科 目	予 算 額	備 考
事 業 費	9,495,000	都道府県連絡会議参加事業費、情報支援ボランティア養成事業費、競技役員等養成事業費
事務局費	805,021	事務局運営費（準備委員会開催費）
合 計	10,300,021	

第25回全国障害者スポーツ大会 オープン競技実施基本方針（案）

第25回全国障害者スポーツ大会（以下、大会愛称「青の煌（きら）めきあおもり障スポ」とする）におけるオープン競技は、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱（公益財団法人日本パラスポーツ協会（以下「日本パラスポーツ協会」とする）制定）に定めるもののほか、この基本方針により実施する。

1 趣 旨

障害者スポーツの一層の普及・振興を図る観点から、「青の煌（きら）めきあおもり障スポ」において、全国障害者スポーツ大会競技規則（日本パラスポーツ協会制定）に定める個人競技及び団体競技（以下「正式競技」とする）以外の競技をオープン競技として実施する。

なお、オープン競技は、正式競技の開催に支障のない範囲で実施するものとする。

2 募 集

広く障害者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められる競技について、県内の関係団体等へ公募する。

3 運営・経費

オープン競技の実施を希望する団体（以下「実施団体」とする）は、競技会開催にあたり必要な業務について、すべての運営を行う。

また、競技会開催に係る経費については、実施団体の負担とする。

4 選定基準

実施するオープン競技の選定基準は、次のとおりとする。

- (1) 実施団体が、自主運営により競技会を実施できること。
- (2) 県内に出場可能な選手・チームが存在すること。
- (3) 県外の選手・チームが出場できるルールが確立している競技であること。
- (4) 既設の競技施設により実施可能であること。
- (5) 原則として、「青の煌（きら）めきあおもり障スポ」の開催期間内に実施が可能であること。

5 選定手順

- (1) 令和4年9月 ～ 関係団体等に対し、公募
- (2) 令和4年10月～ 実施団体等との協議
- (3) 令和5年1月 ～ オープン競技（案）について審議・選定
- (4) 令和5年2月 ～ 中央主催者（文部科学省・日本パラスポーツ協会）と協議のうえ、決定

第25回全国障害者スポーツ大会 式典基本方針（案）

第25回全国障害者スポーツ大会の式典は、第80回国民スポーツ大会（以下、大会愛称「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」とする）と連携し、「翔ける未来へ縄文の風に乗って」のスローガンのもと、障害の有無にかかわらず県民誰もが共に支え合う「共生社会」の実現に寄与することを目的とする。

1 開・閉会式

（1）参加者に配慮した式典運営

開・閉会式は、できるだけ簡素で効率的にし、十分な競技時間を確保するとともに、参加する選手・役員等の負担を軽減し、健康管理に十分配慮するものとする。

（2）式典催事の内容

式典催事は、障害のある人もない人も、大会に参加するすべての人が一体となって感動と喜びを共有できるものとする。

（3）音楽・演技等の構成

式典音楽・式典演技等は、「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」を基本として、第25回全国障害者スポーツ大会開催基本方針を踏まえた構成とする。

（4）荒天時の対応

荒天時の開・閉会式については、規模を縮小して実施する。

（5）リハーサルの実施

開・閉会式の円滑な運営を図るため、リハーサルを実施する。

（6）参加者への情報提供

式典に関する情報が、あらゆる人にわかりやすく提供できるように配慮する。

2 炬 火

（1）炬火点火・納火

炬火は、開会式において主会場の炬火台に点火し、大会期間中、選手たちの活躍を見守り続けた後、閉会式において納火する。

（2）炬火イベント

全県的な大会機運の高揚と、障害に対する理解を深めるため、「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」と連携した炬火を活用したイベントの実施を検討する。

第25回全国障害者スポーツ大会 宿泊等基本方針（案）

第25回全国障害者スポーツ大会に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他の関係者（以下、「大会参加者」とする）の宿舍の確保と大会参加者の障害特性に合った適切な配宿に努めるとともに、大会参加者及び一般観覧者の医事・衛生に万全を期すものとする。

1 宿 泊

大会参加者が心身ともに良好な状態で大会に臨めるよう、関係機関・団体等の協力を得て、おもてなしの心をもって快適な宿舍の確保に努める。

(1) 参加意向調査

宿舍ごとの受入数を調整するため、大会参加者の障害の程度や宿泊数等の調査を実施する。

(2) 宿舍調査

大会参加者の特性に合った適切な配宿を行うため、宿舍の客室タイプや設備等の調査を実施する。

(3) 宿泊環境整備

大会参加者が快適に宿泊できるよう、宿舍のバリアフリー化について理解を求めるとともに、必要に応じてシャワーチェアや浴槽マットなどの宿泊を支援する用具を配置するほか、エレベーターに点字シールを設置するなど、障害特性に応じた宿泊環境の向上に努める。

(4) 宿泊料金の設定

第80回国民スポーツ大会（以下、大会愛称「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」とする）との連携を図り、関係団体等と協議の上、宿泊料金を設定する。

(5) 配 宿

大会参加者の障害の程度や会場までの交通、大会スケジュールなどに配慮した配宿に努める。

(6) 接遇講習会

大会参加者へのサービスの向上と真心あふれるおもてなしを実践するとともに、障害者への合理的配慮を推進するため、宿舍の従事者を対象とした接遇講習会を実施する。

(7) 食 事

大会参加者に提供する食事は、安全・安心で栄養バランスが良く、肥沃な大地と豊かな海で育まれた青森県の新鮮で高品質な農林水産物を利用した郷土色豊かなものを提供する。

2 医事・衛生

大会参加者及び一般観覧者の安全と健康のため、関係機関及び団体等の協力を得て、医療救護や防疫の体制を整える。

また、食品衛生の徹底を図り、会場の清掃や廃棄物の適切な処理を行い、清潔で快適な環境を整える。

第25回全国障害者スポーツ大会 輸送・交通基本方針（案）

第25回全国障害者スポーツ大会に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他の関係者（以下、「大会参加者」とする）並びに一般観覧者の安全かつ確実な輸送を行うよう努めるとともに、観光情報など青森県の魅力に触れる機会を提供する。

1 輸 送

大会参加者及び一般観覧者の安全かつ円滑な輸送を行うため、関係機関・団体等の協力を得て、道路及び交通状況を十分考慮した輸送体制の整備に努める。

(1) 全国輸送

全国から来県する大会参加者の輸送については、各派遣元団体等で来県方法を決定するものとする。

また、関係機関等の協力を得て、安全かつ円滑な輸送の確保に努める。

(2) 県内輸送

大会参加者については、借上バス・タクシーなどにより計画的に輸送を行う。その際は必要に応じて、低床バスや福祉車両等バリアフリーに対応した車両を活用する。

また、一般観覧者については、公共交通機関の利用やシャトルバスの運行等により円滑な輸送に努める。

(3) 車両及び駐車場

大会参加者及び一般観覧者の輸送に必要な車両については、関係機関等の協力を得て、その確保に努める。

また、大会参加者及び一般観覧者の駐車場や乗降場を確保し、輸送の円滑化に努める。

(4) 交通安全対策

大会期間中における交通安全の確保と交通混雑の緩和を図るため、関係機関等のもとより、広く県民に協力を求め、実情に応じた適切な対策を講じる。

2 観 光

全国から来県した大会参加者や一般観覧者に、青森県の魅力に触れる機会を提供し、空き時間を利用しての観光や買い物を積極的にサポートするため、関係団体との連携のもと、観光や県産品の情報提供を行う。

第25回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本方針（案）

第25回全国障害者スポーツ大会（以下、大会愛称「青の煌（きら）めきあおもり障スポ」とする）の県民運動は、第80回国民スポーツ大会（以下、大会愛称「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」とする）と一体となり、県民一人ひとりが様々な形で「青の煌（きら）めきあおもり障スポ」へ参加、協力し、理解を深めることにより、スポーツに関わる楽しさと、感動を分かち合うとともに、来県者を熱いおもてなしの心で迎える大会の実現を目指して展開する。

また、「青の煌（きら）めきあおもり障スポ」の開催を契機に、障害者スポーツのより一層の普及・振興を図るとともに、障害の有無に関わらず県民誰もが共に支え合う「共生社会」の実現に寄与することを目的とする。

1 県民運動の推進

（1）基本目標

- ア すべての県民が、両大会のイベントやボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げる。
- イ すべての県民が、障害者スポーツを「する」「みる」「ささえる」など様々な関わりを通じて、障害者スポーツに対する意欲や関心を高め、障害者スポーツ活動に親しむ。
- ウ すべての県民が、来県者を熱いおもてなしの心で迎える。
- エ すべての県民が、障害や障害者に関する理解を深め、障害のある人もない人も共に支え合う心を醸成する。
- オ すべての県民が、来県者との交流を通じて、青森県の多彩な魅力を発信する。

（2）運動の進め方

- ア 県民運動は、県民一人ひとりの様々な活動への自発的、積極的な参加を基本として推進する。
- イ 県準備（実行）委員会は、「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」と一体となった普及・啓発活動を行うとともに、市町村や各種団体等と連携を図り、全県的な運動を展開する。
- ウ 市町村準備（実行）委員会は、県民運動の普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力して、地域の特性に応じた活動を推進する。
- エ 関係機関・団体、学校、企業、NPO、ボランティア団体等は、県や市町村と連携を図りながら、それぞれの特色を活かした活動を積極的に行う。

2 児童生徒等の参加の促進

児童生徒等が障害や障害者に対する理解を深めるとともに、障害者スポーツの普及を図るため学校等と密接に連携し、式典への参加や競技会場での応援等、「青の煌（きら）めきあおもり障スポ」への参加を促進する。

3 ふれあい広場の設置

県、会場地市町村、福祉関係団体、ボランティア団体等と連携し、開・閉会式会場及び競技会場に「ふれあい広場（仮称）」を設置する。

第25回全国障害者スポーツ大会 会場地設営基本方針（素案）

大会に参加するすべての人が、安全で快適に大会を楽しむことができる会場づくりを目指す。

1 基本目標

(1) 利用しやすい会場づくり

段差解消のためのスロープや車椅子での利用が可能な広めのトイレ等の仮設物を設置するなど、すべての人にとって利用しやすい会場づくりに努めます。

(2) 分かりやすい情報の提供

会場や会場周辺の多くの人が集まる場所への案内ボランティアの配置をはじめ、大きな文字やふり仮名を使った案内看板や電光掲示板、ヒアリングループの設置、インターネットによる情報発信など、すべての人に分かりやすい情報提供に努めます。

2 留意すべき視点

(1) 安全性

障がいある人をはじめ、すべての人に配慮した動線の設定や区分けを行い、安全な会場づくりに努める。

(2) 快適性

看板等の情報伝達設備やスロープ、オストメイト対応多目的トイレの設置など、すべての人が快適に利用できる会場づくりに努める。

(3) 簡素化・効率化

既存施設を最大限に活用し、仮設物による対応を基本とする。

また、国体等で利用した物品等を有効活用するなど、簡素かつ効率化な会場づくりに努める。